

# 心に寄り添うボランティア「傾聴ボランティア」

健康課介護保険係 (67)7655

健康課介護保険係・地域包括支援センター 内線621・622

## 高齢者の心の声に

### 耳を傾ける

「おはなしあいてボランティア さくら」は、介護施設や高齢者宅を訪ね、傾聴活動を行うボランティアの会で、平成24年4月から活動を始め、現在11人が登録しています。

新型コロナウイルス感染症対策のため訪問活動は休止していますが、会員同士が活動を支えあう「ピアサポート」を目的に、ここ「甘楽で月1回「つどい」を開き、情報交換を行っています。

7月28日のつどいでは、特別養護老人ホームシルク・おぼたの三木施設長から、施設における感染予防の現状などについて話を聞いていただきました。また、新しい生活様式の中での活動について話し合い、「手紙を送る」など形を変えた交流について意見が出されました。

今年8年目を迎えた同会では、一緒に活動する新しい仲間を募集しています。興味のある人は、地域包括支援センターまでご連絡ください。

## 長い間、お疲れさまでした

多くの人の心の声を聴き、地域の社会福祉の向上に貢献されたボランティアの2人が7月をもって、活動を終了されました。



相川成子さん(左)と富山フミ代さん

「会えるという幸せ」。傾聴活動の大切さを実感



コロナで活動が休止。何かできることはないか？



傾聴ボランティアのつどい



特別養護老人ホーム  
シルク・おぼた  
施設長 三木秀明さん

傾聴ボランティアの皆さんの活動は、施設の利用者が外部と関われる良い機会であり、「思い」をそばでじっくり聴いてもらえる貴重な時間となっています。コロナで活動できない中、人が生きるうえで社会とつながることの重要性を改めて実感しています。

安心して活動が再開できる日を心待ちにしています。

### 相川さん

地域のことを知り、いい仲間巡りに巡り合え、楽しく活動できました。傾聴の大事さを実感しています。

### 富山さん

とてもいい勉強をさせていただきました。今までの経験をもとに、できることをやっていきたいと思っています。